

お知らせ

三隈川・大山川の河川環境改善のため 社会実験(フラッシュ放流試験)を行います！

【実施予定日】

最大放流量

第1回：平成23年 9月26日(月)	10m ³ /s
第2回：平成23年 9月29日(木)	20m ³ /s
第3回：平成23年10月 3日(月)	30m ³ /s
第4回：平成23年10月 6日(木)	40m ³ /s
平成23年10月11日(火)	予備日

実験当日の天候により中止する場合があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

【時 間】 放流開始 9:00

放流終了 14:30～16:00頃

(実施日によって異なります)

九州電力の大山川取水堰(下釣堰堤)から
試験的に放流量を増やします



⚠ 注意！

大山川取水堰からの放流量は徐々に増えますので
河川の水の量は少しずつ多くなっていきます

最大40m³/sを放流した場合、大山川取水堰～玖珠川合流間
では、水位が最大70cm～90cm程度上昇することが予想されます
雨が降っていなくても河川の水位が高くなり危険です
試験中は河川に入らないようにしましょう

～ 三隈川・大山川河川環境協議会は、以下のメンバーで構成されています ～
国土交通省筑後川河川事務所・筑後川ダム統合管理事務所・水資源機構
大分県・九州電力(株)大分支社・日田市・NPO水郷ひた再生委員会
九州大学:調査・評価の協力

問い合わせ先 / 三隈川・大山川河川環境協議会 事務局

日田市 水郷ひたづくり推進課

TEL:0973-22-8357、FAX:0973-22-8241

三隈川・大山川河川環境協議会では、三隈川・大山川の河川環境の改善を目指して、鮎の質を改善するための方法等を検討するための「社会実験」を始めることとなりました。

今回の「社会実験」では、九州電力(株)の大山川取水堰から短い時間で一定の水量を放流する『フラッシュ放流試験』を実施し、河川内の付着藻類(コケ)が剥がれるために最適な流量や河川景観などを調査します。

現地地図



- ・フラッシュ放流試験の前日・翌日に、地図中の調査地点において付着藻類(コケ)の量を測定します。
- ・この測定で、フラッシュ放流によって剥がれた付着藻類(コケ)の量を調査します。

○ 河川調査地点
(放流の前後に行います)

- ・フラッシュ放流試験の日に、河川景観の変化などのアンケートを行います。
- ・皆様のご協力をお願いいたします。

○ 景観調査地点
(放流中に行います)